

# 人生ハンド仏句

第18号

H. 15. 9. 1

(毎月1日発行)

編集・発行  
玉蓮山  
真成寺  
編集部

無上甚深、

微妙の法と

無明の法

の違い

「これこそが、「の」  
えである」とインドのお  
「迦」が「かれ、日蓮聖  
人が引き「いで、私たち  
に授けてくださった「法  
華」「こそ「無上にして、  
甚深であり、微妙な「  
え」なのです。  
法華」とは「無上の「え」  
です。

法華「以上の「えはこの  
世には存在しないのです。

法華「こそ「甚だ深

い「え」であり、これ以上

「深い、すべてに行き渡っ

た「えは、この世にはない

のです。このような法華

「であるから「微妙な「

え」であるという以外に表

現の仕方がないので。

「めたたえる言葉がない

ほど立派なこの法華「に、

出「うことすら困難であ

るのに、この法華「を受持

する事が出「る私たちの

幸福を、深く深く味わわな

ければいけないのですが、

凡人である私たちは、どち

らかと言えは「慣れ」て

しまい、つい「無上

甚深ミ・ミ・ヨウの法は「ミ・

とお唱えしなければなら

ないのに「無上甚深ミ・ミ・

ウの法は「ミ」と間違っ

てお唱えしている方がい

ます。この間違いは、「間違

えた」と言うだけではすま

ないほど重要問題です。

「ムミ・ヨウの法」と言う「

音に漢字をあてはめると

「無明の法」となるわけで

す。「ミ」では、「因果の法」

を重視し、現在の「態を作

り出す原因を重く見ます

が、私たち人生に、不幸を

もたらし、苦痛を「え、困

らせ、悲しませる大本にな

っている原因は、「無明」

である、とされています。

「微妙」が最上段である

とすれば、「無明」はその

反「の最下段です。「微妙」

が最善であり、「無明」が最

「なのです。「ミ・ミ・ヨウ」と

「ムミ・ヨウ」の似たような

一文字の「音で、これだけ

の「ひらき」が出「てしま

うのですから、私たちがお

「を「む時には、

上うもの空で「誦することなく、

一言一句もおろそかにせず、

心を集中して「「しな

ければならないと思ひ

ます。

住職 谷川「俊

親孝行は変わることはない  
永遠の真理である